



きらめく  
**まちビト**  
×  
難波 麻実

本市名寄地区の除排雪業務は、名寄三信環境整備事務組合に加入する8事業者で行われています。加入業者の1つである五十嵐運輸株式会社で名寄地区唯一の女性オペレーターとして豪雪地帯名寄の除雪業務を担う難波麻実さんにインタビューしました。

市民の皆さまが快適に暮らすことができるように技術力の向上を。

**除雪車のオペレーターを始め  
たきっかけは**

以前はダンプのドライバーとして一般作業がある季節のみ雇用される「季節雇用」で勤務していましたが、会社から「除雪車を操作できる資格を取って通年雇用で勤務しないか」という勧めを受けたのがきっかけです。平成27年に上川北部地域人材開発センターの建設労働者緊急育成支援事業を利用し、車両系建設機械運転者の資格と大型特殊免許を取って、平成28年から除雪車のオペレーターを始めました。

**除雪車の出勤などについて教  
えてください**

名寄三信環境整備事業組合の当番パトロールから観測地点の積雪が10センチ以上あると会社に連絡が入り出勤することになります。雪は日を選ばずに降るので、土曜日も日曜日も正月もありません。また、出勤するときは午前2時頃から作業を開始するので、お酒も飲みません。出勤のあるなしに関わらず、いつでも出勤できるようにし、プライベートよりも除雪を優先しています。

**除雪作業中に注意しているこ  
となどを教えてください**

除雪作業は深夜から早朝の暗く、ときには吹雪で見通しが悪い中での作業になります。走行している車はもちろん駐車を両、自転車、融雪口に雪を入れている方、自宅の雪を除雪されている方、新聞配達の方などがおられるので、細心の注意を払っています。また、車や人のほか、マンホールや道路の作工物なども破損させないように注意しています。

**除雪車の操作で苦労している  
ことは**

12年目なのでまだまだ慣れていない点がたくさんあります。真っ直ぐ除雪していると、交差点では、交わる道路側に雪を残してしまいます。それを残さず除雪するためにグライダーを使って、「巻き込み」という作業を行います。この作業が難しく、苦労しています。また、湿った雪や軽い雪などの雪質、気温、量、その日によって除雪の仕方を変えなければならぬことも難しいです。さらに、雪を厚く残し、車が走行しにくくならないよう、平らではない道路の路面すれすれまで削りなが

ら、民有地に雪を入れないよう注意しながら除雪しています。

**除雪技術向上のために努力していることは**

除雪を終えた後などに先輩オペレーターからアドバイスをいただくことができます。そのアドバイスを大切に、できるだけ早く自分の技術にできるように日々努めています。

**市民の皆さまへ一言お願いします**

安全に十分注意し、日夜がんばって除雪作業を行っていますので、ご理解とご協力をお願いします。

**Profile**

**難波 麻実 (なんば まみ)**

昭和49年旧風連町生まれ。平成5年からトラック、平成7年からはダンプのドライバーを務め、平成18年に五十嵐運輸株式会社に入社。趣味はバレーボール、洗車、掃除、お菓子作り。

きらめくまちビト…名寄市内で活躍する市民などの紹介を通して、地域の魅力を発信します。